

2022年12月28日

各支部執行部 御中
組 合 員 各 位

日清製粉労働組合
中 央 執 行 部

第 69 期 第5回中央執行委員会 報告



日時 : 2022年12月14日(水)11:00から12月15日(木)17:00まで
場所 : WEB併用で実施(集合:山下、赤木、松本、島津、佐々木、松尾、荒井、岡本)
(WEB:武井)

<第5回中央執行委員会 議題>

[討議事項]

- 1.「10本の活動の柱」に関する取り組み検討
- 2.日清製粉労働組合の本部体制に関する検討
- 3.支部代表者会議議題確認
 - (1)申し入れ関連
 - (2)2023春闘情勢、要求項目及び交渉
 - (3)「10本の活動の柱」に関する取り組み進捗
 - (4)「ナイスアクション大賞 for Vision」目標発表
- 4.その他

[報告事項]

- 1.各社労使協議会
- 2.労使協議報告(11月15日 エンジ労働時間運用変更)
- 3.申し入れ報告
- 4.支部リーダー研修
- 5.フード連合関連
- 6.その他

[討議事項]

1 「10本の活動の柱」に関する取り組み検討

今期取り組む「10本の活動の柱」について、以下の通り議論した。

(1) 活動の柱① 「多様な価値観を踏まえた総合的な労働条件の改善」

2023春闘対策

(1) 賃上げ

- 日清労組の賃上げ要求に関する 3 つの考え方を踏まえ、要求を行うことを前回の中央執行委員会で示しているが、要求内容については、政労使の動きやフード連合の方針を受けた加盟単組の動向も見極めた上で、2023年 1 月 16日～18日に開催予定の第 6 回中央執行委員会で結論を出すこととしたい。

(2) 一時金

- 各社の第 3 四半期決算時点での通期業績見通しに基づき、2023年 1 月 31日～2月 1日に開催予定の第 7 回中央執行委員会で各社毎の具体的な要求案を決定することとしたい。G 本社と製粉に関しては要求回答方式から労使協議方式への変更の申入れがあり、この申入れを受けた場合には具体的な要求案を掲げないが、通期業績見通しを参考にしつつ一時金水準を考察していく。

(2) 活動の柱④ 「努力と成果が報われる人事制度の運用チェック」

2023年 1 月に実施予定の「組合員アンケート」の具体的な設問について討議した。特に、今回は、転勤についての問題意識に関する項目、多様な人が働きやすい環境づくりについての項目に関して、重点的に議論を行った。

2 日清製粉労働組合の本部体制に関する検討

70 期で目指す「専従 4 名・非専従 4 名体制」においては、非専従の業務を専従者へ移行していく必要がある。具体的な役員構成案について中執内で議論した結果、専従と非専従にそれぞれ副委員長を置き、副委員長 2 名体制で運営していく方針とした。「専従 5 名体制」への移行にあたっては専従テーマの課題と非専従テーマの課題がそれぞれあるため、その課題解決を副委員長が中心となって進めていく。

3 支部代表者会議議題確認

12 月 16日に実施される支部代表者会議に向けて、議事内容の最終確認を行った。

[報告事項]

1 各社労使協議会

11 月に実施された各社労使協議会について、その内容を中執内で確認した。具体的な議事内容については、NI ネットでの掲示または職場で回覧される議事録をご確認願いたい。

2 労使協議報告(11月15日 エンジ労働時間運用変更)

2022年10月18日(火)に標記の申入れがあった。支部で行っていただいた意見集約をもとに、11月15日(火)に第1回の労使協議を実施した。内容及び本部見解については労使協議報告を確認願いたい。

3 申し入れ報告(11月28日 時短期間見直し)

(1) 時短期間見直し

2022年11月28日(月)に標記の申入れがあった。支部で行っていただいた意見集約をもとに、労使協議を実施するか否か判断を行う。内容については申し入れ協議報告を確認願いたい。

(2) G・粉 春闘交渉方式及び交渉指標見直し

2022年12月15日(木)に標記の申入れがあった。1月中旬に次回労使協議を行う予定としており、意見集約にご協力いただきたい。内容については申し入れ協議報告を確認願いたい。

4 支部リーダー研修

支部リーダーとしての心得習得と支部活動への意識向上につなげていくことを目的として、以下の通り開催した。

■日時:2022年12月9日

■場所:TKP 心齋橋カンファレンスセンター

■参加者:西原 隆典(名古屋)、加藤 里菜(名古屋営業所)、中西 匡志(東灘)、

鈴木 計弘(岡山)、遠藤 太架雄(福岡)

山下 恒由(本部)、松本 雄哉(本部)、佐々木 洋治(本部)、松尾 成樹(本部)、

■内容:①日清労組及びフード連合の組織、活動概要

②フード連合の「総合労働条件改善共通課題」

③当社G人事制度について

④一時金要求案シミュレーション

⑤構造改善の歴史と宇都宮問題

⑥支部リーダーの役割と責任

5 フード連合関連

(1) フード連合 2023春闘討論集会

日時:2022年11月23日(水) 場所:メルパルク熊本

2023春闘に向けて、連合の春季生活闘争基本構想を受けた「フード連合 春季生活闘争方針(素案)」を基に討議を行った。当労組からは山下委員長、松本書記長が現地にて、島津書記次長がWEBで参加した。

(2) フード連合 製粉部会 第2回三役会議

日時:2022年11月24日(木) 場所:大阪

2023春闘に向けての共闘体制の確認や今期の活動方針にある視察関連や勉強会の内容等について検討を行った。当労組から製粉部会事務局長の山下委員長が出席した。

(3)フード連合 第2回産業政策委員会

日時 12月2日(金) 場所:東京都内

公正な取引関係の構築、食育の推進・環境問題への対応、関係諸団体(連合、UA ゼンセン、国民民主党等)との連携について確認した。また、適正取引推進ガイドラインの新規対象検討、業種別部会政策の推進と実現等について協議した。当労組から製粉部会産業政策委員の松本書記長が出席した。

6 その他

(1)日清製粉グループ本社株式の追加取得について

第69回定期大会にて決議された自社株式の追加取得を11月に実施した。

平均取得価額は 1630.63 円

取得株式数は 180,700 株

となり、保有株式は計 580,000 株 となる。現在の年間配当金 39 円をベースとすれば、年間700万円程度の収入増となる。

(2)高崎分会について

68期、高崎分会より今後の分会活動の維持が難しいという理由もあり、解散についての意思表示があった。分会会にて満場一致で可決後、2022年9月の東京支部定期大会でも可決されている。これをもって、2月予定の臨時大会では、高崎分会の解散、少人数事業場化についても組織決議を行いたい。

[今後のスケジュール]

1/16-18	第6回中央執行委員会
1月下旬	連操協議(書面)
1/31-2/1	第7回中央執行委員会
2/6-17	春闘前段オルグ
2/10	日清製粉健康保険組合 理事会
2/13-24	各支部職場討議
2/16	日清製粉健康保険組合 組合会
2/26	フード連合 春闘総決起集会
2/27	臨時大会準備会議/臨時大会
3/1-	春闘

※ 今後の新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、やむを得ず開催を延期・中止せざるを得ない場合があることを、予めご承知置きいただきたい。

以上